

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	運動学1	講義	1	20	解剖学・柔道整復学
学科 ・ 学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科 2年	中井朋美	☐ 有 ☒ 無			
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
運動器の構造と機能、および実際の身体運動における筋骨格系の作用についての専門的知識を習得することを目標とする。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
解剖学と運動学の2つの教科書を使用します。 またプリントを配布するため、各自なくさないようにファイリングをお願いします。 問題の復習のため、Googleフォームへの課題提出があります。					
教科書・参考書					
解剖学 第2版 (社)全国柔道整復学協会 医歯薬出版 運動学 第3版 (社)全国柔道整復学協会 医歯薬出版					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。					
【 受講科目受講時留意点 】 ●配布プリントの再配布はしませんので管理を徹底すること。					
成績評価方法					
評価 方法	評価 割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期 試験	70	定期試験を行い評価する。			
その他	30	出席・授業態度・小テストを加味し、評価を行う。			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		四肢と体幹の運動 ①上肢帯の運動 ②肩関節の運動		/	中井
2		四肢と体幹の運動 ②肩関節の運動 (筋の起始・停止・神経・作用)		/	中井
3		四肢と体幹の運動 ③肘関節と前腕の運動 ④手関節と手の運動 (筋の起始・停止・神経・作用)		/	中井
4		四肢と体幹の運動 ③肘関節と前腕の運動 ④手関節と手の運動 (筋の起始・停止・神経・作用)		/	中井
5		小テスト 四肢と体幹の運動 ⑤股関節の運動 (筋の起始・停止・神経・作用)		/	中井
6		四肢と体幹の運動 ⑥膝関節の運動 ⑦足関節と足部の運動 (筋の起始・停止・神経・作用)		/	中井
7		四肢と体幹の運動 ⑧体幹と脊柱の運動 ⑨頸椎・胸椎・腰椎の運動		/	中井
8		四肢と体幹の運動 ⑩顔面頭部の運動		/	中井
9		定期試験対策 問題演習		/	中井
定期試験					
10		定期試験解答解説		/	中井